てんどう 政治

県政報告シリーズ vol.10

山形県政 天童の目線

●山形県議会議員
矢吹 栄修（やぶき・えいしゅう）

やぶしゅう通信

2014年 夏号

現状維持ではなく、常に挑戦と変革の気持ちを！

「今日のままにして瓦解せんよりは、むしろ大英断に出て瓦解いたしたらんにしかず」これは、大久保利通の言葉です。どうしても、行政は先例主義、保守的であるケースが多いですが、激動の現在、現状を維持することだけに終始すれば、いずれ地方自治体は瓦解してしまいます。

政治や行政にたずさわる者は、むしろ大英断して勝負する、という気概が必要なのではないでしょうか。むろん慎重さは必要ですが、常に挑戦し、変革し、小さなことでも大きなことでも動いていくことを胸に刻み、大英断とまではいかなくても、いつもアイディアを出し、自ら行動していきたいと思います。

今回は、6月定例会での予算質問の内容を中心に、県政報告させて頂きます。

▲6月定例会にて予算質問

1 福祉から興す産業とまちづくり

高齢化社会の中、介護などの福祉は、社会の中で大きな問題となります。今回はすこし視点を変えて、今後市場が拡大していくであろう福祉に関連する産業を県内に集積させてはどうか、という提案をしました。

福祉施設で使う器具はもちろんのこと、高齢者や障がい者の方が使うものは数多くあります。しかもアイディア一つでヒット商品が生まれ、需要も高い分野です。例えば、電動車いすやシルバーカー。高齢者の気軽な足として開発・販売すれば、産業振興になると同時に、お年寄りの引きこもりなどの対策にもなります。また、介護補助ロボットなども技術が進んでおり、将来間違いなく大きな市場になります。

裾野が広い福祉に関連する産業に進出することで、雇用を生み出し、地域を活性化させるという、福祉や介護をマイナスのイメージでなく、産業振興というプラスの側面からとらえるのです。ぜひ、天童がこういった福祉からみる産業集積のモデル地域のような形で手を上げ、歩道や施設などが車いすでも歩きやすいまちづくりも同時に進めることで、高齢者や障がい者の方が住みやすく訪れやすい天童・山形が作れればと思います。

私としては、こうした福祉のまちづくりの象徴として、運動公園で車いすの大見本市と電動車いすの機能を競う競技会のようなものが開催できればと夢見ています。

2 森林ノミクスとチップボイラーの導入

今、知事は「森林ノミクス」を提唱して、森林資源を有効に活用して、産業振興と雇用拡大を図ることを宣言しました。私も、前回書いたように天童にチップボイラーを導入して、間伐材や木材となる部分以外の樹を燃料として利用すべく、様々な方に協力頂いて努力しています。

捨てる部分をチップとして売れることで、森林事業が経済行為として取り組みやすくなり、伐採やチップ作り・輸送に関わる業者も仕事ができ、チップを使う側も灯油より安く燃料が手に入ることになる、三方両得のシステムです。さらに山の整備が進んで災害対策になり、再生可能エネルギーなので環境にもよく、地域でお金がまわる、という一石何鳥もの効果をもたらします。

しかし、心配なのは、そのチップの製造です。これまで林業がながらく衰退していたため、林道の整備が放置され、また、ドイツなどでは進んでいる高性能の林業機械が日本ではまだ普及していません。そのため、木材生産やチップの製造は、簡単に増産できず、コストもかかってしまうのが現状です。

とにかく、この木質バイオマスの事業をはじめとする林業が経済行為として成り立つには、行政がしっかりと予算組みをして、林道整備や高性能林業機械の導入、人材育成などをバックアップせねばならず、全力で取り組むように知事および農林部長に訴えました。

3 海外に対する観光戦略について

今年は、山形DCをはじめ、東北六魂祭などの全国規模のイベントがたくさんあり、観光の当たり年となりました。しかし、これを一過性のものにせず、天童でも重要な観光振興をはからねばなりません。とくに今回は、海外への戦略を質問しました。

まず、海外とはいってもターゲットを絞らねばならず、経済振興著しいASEAN諸国なのか、それともまだ誰も手をつけていない地域なのか、対象を絞った上で、しっかりとストーリー性をもって海外に山形を発信せねばなりません。ストーリー性と印象深さは重要で、私は、山形県の愛県度ランキングワースト2位という不名誉や事実を「実は自分の県が好きだけど、好きだと素直に言わない県民性」という風に逆利用し、「日本一お国自慢が下手で、PR下手な山形県」だからこそ、「まだまだ知られていない、いい商品、いい農産物、いい観光地の宝庫」として、山形を発信していくのがいいのでは、と思っています。

また、例えばシンガポールの人は、自然や花や雪といったものが大好きだけど、歴史的建造物などはあまり興味がない、などといった好みがあるので、それぞれの国民性に合った観光メニューを、山形だけではなく近隣県とも連携し、「南東北」というぐらいのスケールで売り込んでいく必要があると思います。

その上で、Wi-Fiの整備や言語のおもてなし体制づくりなど、海外の方の受け入れ体制をしっかりと整備していくべく、行政ともども努力したいと思います。

矢吹えいしゅう Eisyuu Yabuki Profile プロフィール

◇昭和49年　天童市小路に生まれる
地元の南部小学校、天童第一中学校卒業
◇平成5年　山形東高校卒業
◇平成9年　東北大学文学部卒業
◇平成11年　立正大学大学院修士課程修了
◇同　年　日蓮宗信行道場にて修行を終え、僧侶の資格を得る
◇平成12年　百日の大荒行を満行
◇現　在　天童妙法寺副住職
◆趣　味　読書と執筆、スキー、野球、バスケ等のスポーツ
◆信　条　代案なき批判をしない
理想の灯を照らして、現実の暗い道をいく

トピックス 文教公安常任委員会の視察

この度、文教公安常任委員会で県内視察をしました。

教育、警察で先進的な取り組みをしているところを視察しましたが、特に、大石田と南陽で視察した、コミュニティー・スクールの取り組みに興味を抱きました。

これは、地域ぐるみで地元の学校に関わっていくシステムで、学校の運営方針なども、地域の方々が関わって決めていくものです。とかく閉鎖的になりがちな学校にとって、外の空気を入れる意味でいいですし、地域住民が地域の子どもは地域で育てるという意識を持ってもらえるといった利点があります。また、南陽などでは中学校単位でこのシステムを取り入れ、小中学校の先生がお互いに交流し、カリキュラムを小中一貫で組む努力をしたり、中1ギャップを解消する取り組みをしたりしています。

天童でも十分に取り入れられるシステムだと思います。課題もありますが、天童に導入すべく研究していきたいです。

▲常任委員会の視察の様子

天童、躍動！

山形県議会議員 矢吹えいしゅう事務所
ご意見をお寄せください。皆様の声をお届けします。
●政治に関すること ●日々の生活に関すること ●山形県政、天童市政に対する疑問・質問など
〒994-0049 山形県天童市南町2-1-29 メープル2号
TEL.023(674)8553 FAX.023(674)8554
公式ホームページリニューアルしました！
矢吹えいしゅう公式ホームページ http://yabushu.jp